

エステライトアステリア

エステライトアステリアは、トクヤマデンタルが長年培ってきた技術を結集して開発した新しいコンポジットレジンです。エステライトプロの特長である、天然歯に近い「質感」・「舌感」を継承しつつ、さらなる色調適合性の改良で、より簡便な充填方法で高い審美性が得られます。

特長

▶ 優れた色調適合性

エステライトアステリア ボディシェードは、光学的特性の改良によりエステライトプロのボディシェードよりも天然歯との色調適合性（カメレオン効果）に優れます。

▶ シンプルレイヤリング

エステライトプロよりも積層方法を簡略化しました。基本的には2色2層、症例によっては単色のみの簡便な方法で高い審美性が得られます。

▶ 優れた操作性、研磨性

環境光下での操作余裕時間をエステライトプロよりも長くする一方で、光照射時間を短縮しました。また、エステライトプロ同様、トクヤマデンタル独自のスーパナノ球状フィラー（直径 200nm）を配合しているため、研磨が容易で艶が長期的に持続します。

製品構成

■ エステライトアステリア エssenシャルキット

全12シェードのうち特に使用頻度の高い7シェードに、本製品の開発アドバイザーである高橋登先生（東京都世田谷区開業）監修によるクリニカルガイドを付属したキットです。このキットでほとんどの臨床ケースに対応でき導入に適しています。

包装 1箱：ペースト 2.1mL(4.0g) 7本入り

- ・ボディシェード：A1B, A2B, A3B, A3.5B, A4B（汎用性の高いA系シェード）
- ・エナメルシェード：NE (Natural Enamel, 前歯用), OcE (Occlusal Enamel, 臼歯咬合面用)
- ・クリニカルガイド（カラー、28ページ）1冊

価格 42,000円



■ 単品

包装 1箱：ペースト 2.1mL(4.0g) 1本

- ・ボディシェード(全7色)
A1B, A2B, A3B, A3.5B, A4B, B3B, BL (Bleach)
- ・エナメルシェード(全5色)
NE, OcE, WE (White Enamel), YE (Yellow Enamel), TE (Trans Enamel)

価格 7,000円





エステライトプロとエステライトアステリアのシェード対応



開発アドバイザー
高橋登 先生
タカハシデンタルオフィス院長

エステライトアステリアは充填方法が簡略化されており、エステライトプロと比べて、より扱いやすいレジンになっています。エステライトプロをお使いの先生方であれば、簡単に使いこなしていただけるでしょう。アステリアのエッセンシャルキットを導入して切り替えていただくことがお勧めですが、エステライトプロの足りなくなったシェードを順にアステリアにて補充することで、無駄なく切り替えることもできます。

アステリアではエステライトプロのオペーク、ボディ、エナメルシェードを一括してボディシェードで置き換えていただけます。例えば、エステライトプロのA2O, A2BおよびA2Eを買い足す代わりに、アステリアのA2Bをお求めいただく要領です。エステライトプロの使い方は先生方のスタイルによって多少の違いがありますから、以下の表を参考に切り替えていただくと違和感も少なくなります。

※ ボディシェードを中心に充填し、エナメルシェードを薄く充填する方法（アステリア推奨）

エステライトプロ			エステライトアステリア	
	BW		→	BL
	A1B	A1E	→	A1B (または A1B & WE)
A2O	A2B	A2E	→	A2B (または A2B & NE)
A3O	A3B	A3E	→	A3B (または A3B & NE)
		A3.5E	→	A3.5B (または A3.5B & NE)
		A4E	→	A4B (または A4B & NE)
		TN	→	NE (または WE)
		TG	→	NE (または WE)

※ ボディシェードを少なめに充填し、エナメルシェードを厚く充填する方法

プロ	アステリア	プロ	アステリア	
BW	→	BL		
A1B	→	A1B		
A2O	→	A2B		
A3O	→	A3B		
		A1E	→	WE
		A2E	→	NE
		A3E	→	NE
		A3.5E	→	YE
		A4E	→	YE
		TN	→	TE
		TG	→	TE





エステライトアステリアの臨床使用におけるポイント



宮崎真至 先生
日本大学歯学部教授

レイヤリングテクニックについては、異なるシェードのレジンペーストを数層にわたって充填する術式であると理解されている。しかし、本来の目的としては、審美的要求の高い症例において光線透過性（透明性）が異なるレジンペーストを積層することで周囲歯質との明度の適合性を向上させるテクニックと捉えることができる。

これまでのレイヤリング用コンポジットレジンは、オペークペーストを用いて明度を、ボディペーストで彩度を、トランスペーストで透明感をコントロールしていた。しかし、エステライトアステリアは、ボディペーストを用いることで明度と彩度をコントロールすることができ、しかも歯質との色調適合性に優れている。さらに、**透明感の表現にはエナメルペーストを用いるが、白歯に限らず、前歯部へもOcEを用いると、さらに術式が簡便となる。**臨床では、ボディペーストで概形を整えた後に、明度を考慮してペーストをカットバックする。次いで、その部にエナメルペーストを充填することで、シンプルでありながら審美的修復処置が可能となる。

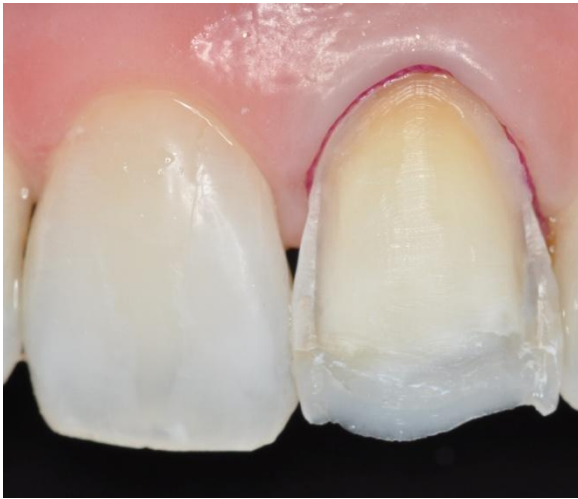


図1 失活歯の審美回復のためにダイレクトラミネート用の形成を行う。



図2 レジンペーストは、A1Bをメインとして形態を整えて、切縁付近からカットバックして硬化させる。次いで、その部にOcEペーストを充填する。





エステライトプロからエステライトアステリアへの切り替え



大谷一紀 先生
大谷歯科クリニック院長
青山ホワイトリア

エステライトアステリアは特殊な光学特性により単一もしくは二層のレイヤリングで自然な色調再現が可能な自費用コンポジットレジンである。従来の自費用コンポジットレジン「エステライトプロ」は、オペーク、ボディ、エナメル、トランスの4シェードから構成されており、細かな色調整（特に明度コントロール）が可能であったが、チェアサイドでのシェード選択や積層数等が難しいこともあった。特に前歯のクラスIV窩洞のように高い審美性を要求されるような症例では、象牙質部分にオペークシェード、ボディシェードのどちらを使用するのか、それとも両方使用するのか迷うケースも少なくなかったが、アステリアへの切り替えによってシェードの選択が容易になった。

エステライトプロのA30またはA3Bを使用していた症例ではアステリアではA3Bを、A20またはA2Bを使用していた症例ではアステリアのA2Bを使用することで、充填部が暗くなることもない。また、アステリアにはエナメルシェードが5色用意されているが、エステライトプロのトランスシェードに近い色調であるため、積層充填を行う場合はボディペーストの上にわずかにエナメルを積層するイメージで使用している。エステライトプロのトランスシェードであったTGやTNを積層するような部位（前歯切縁部等）には、WEもしくはNEを使用している。

エステライトプロ 2～3層充填		エステライトアステリア 1～2層充填
オペーク + エナメル	=	ボディ
ボディ + エナメル	=	ボディ
トランス(TN, TG)	=	エナメル(WE, NE)



図1 外傷による11の歯冠破折で来院
(シェードA2)



図2 ダイレクトボンディングによる修復
(A2B, WE使用)

